

議案 番号	8 1	資料 番号	1
都市計画課			

スマートライティング推進事業について

1 背景・目的

温暖化により国内外で深刻な気象災害が多発し、今後さらにそのリスクが高まる可能性がある中で、国は、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。また、本年4月に開催された気候変動サミットでは、2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標を2013年度比46%減とすることを表明し、地域の再生可能エネルギーを活用した脱炭素化や企業の脱炭素経営の促進など、経済と環境の好循環につなげる「グリーン成長戦略」へと舵を切りました。

こうした国の施策を踏まえ、本市においても、脱炭素社会（グリーン社会）の実現を目指し、温室効果ガスの排出抑制や経済と環境の好循環を生み出す地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入などに取り組んでまいります。

このたび取組のひとつとして、環境省のモデル事業の採択が見込まれることから、国の補助金を活用し公園灯、道路照明灯の一部のスマートライティング化を進めます。

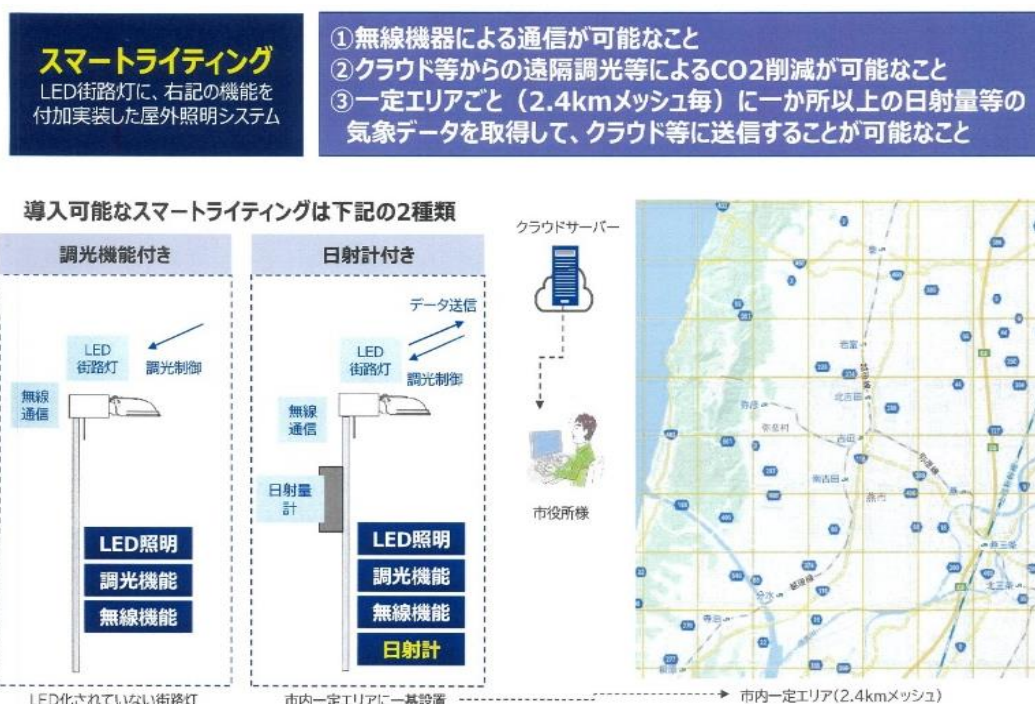
2 事業概要

燕市が所有するLED化されていない主な公園の公園灯、道路照明灯の一部をスマートライティング化するために必要な計画策定を実施します。

なお、公園灯、道路照明灯のLED化は、以前より順次進めているところであり、本事業は後年度に実施を計画していたLED化の前倒しと併せて、スマートライティングに更新するものです。

(1) スマートライティングとは

遠隔により調光操作（周辺環境や時間帯に合わせた消灯や減光を調節）ができるLED照明灯に更新すること。LED化によりエネルギー消費量を削減することに加え、遠隔による光の調整を行うことで、さらに削減効果を高めることによりCO²の排出抑制につながることが期待されています。

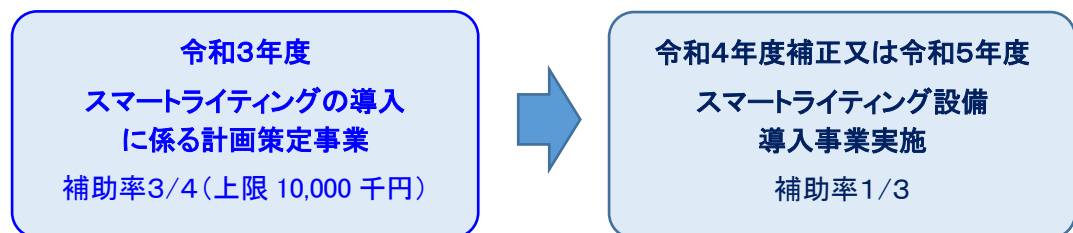


(2) 計画策定業務の内容

- ① スマートライティングへの更新を予定する既存の公園灯、道路照明灯の現状把握
- ② 無線機器及び日射量等の気象データを取得する機器の設置に係る調査・検討
- ③ スマートライティングの導入に先立ち必要な地理情報システムの構築
- ④ 上記システムへの調査データの入力等
- ⑤ スマートライティングの導入数量を決定し、導入コストや導入効果を推計したうえで計画策定

(3) 事業計画

計画策定後、スマートライティングに更新する屋外照明灯を確定し、令和4年度補正又は令和5年度にスマートライティング設備等導入事業を実施する予定です。



3 期待される効果

本事業は、屋外照明灯のLED化に加え、無線機器を付帯した一元的な遠隔調光等により、エネルギー消費量の大幅な削減が可能です。また、一定エリアに1つ以上の気象観測装置を設け、今後のCO²排出抑制施策に必要なデータ取得を基本に、路面監視等のモニタリングも可能となるなど、道路の管理精度向上が期待できます。

4 補正予算額

(歳入) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	10,000 千円
・ 国庫補助金 補助率 3 / 4 (上限 10,000 千円)	
(歳出) スマートライティング化計画策定業務委託料	14,300 千円
・ 調査業務 (現状把握)	5,500 千円
・ 台帳管理システム構築	7,700 千円
・ 計画書作成	1,100 千円